

国語

注

意

- 1 問題は〔一〕から〔三〕まであります。
- 2 時間は50分です。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。
- 4 答えはていねいに記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。

〔一〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

まずはモグラのサングラスについての検証です。モグラは地上ではサングラスをしなければならぬくらい、光に弱いのでしょうか。

いいえ、そんなことはありません。モグラは光に弱くない、というより、ほとんど光を感じることができません。「モグラには目がない」というのは、ほぼ正解と言っているのでしょうか。

実際のモグラの目を見てください。これはタイにいるモグラ亜科^{あか}の一種、クロスモグラの顔の写真です。よく見るとたしかに目はあるのですが、皮膚^{ひふ}でおおわれてしまっているのがわかりますか。

動物は、胎児^{たいじ}のとき、はじめはみなこのように目がふさがっているのですが、胎内で目が開く^あカティがあります。しかし、モグラには、それがなく、ふさがったままになっています。

とは言っても、世界中のすべてのモグラの目がふさがっているわけではありません。ヨーロッパに棲^すんでいるモグラのなかには、目が開いているものもあります。でも、いづれにしても、彼らにもほとんど視力^①がありません。

ふつう哺乳^{ほにゅう}類の目には、光を感じるためのレンズや細胞^{さいぼう}があり、モグラの場合にも、これらの構造は残っていて、機能しているようです。ところが、モグラに光を当てても反応するような行動は観察できません。だから、光の情報を脳^②でチカクすることができないのではないかと言われているのです。

でも、モグラはなぜ光を認知しないのでしょうか。そう、彼らは暗い土の中に棲^すんでいるからです。真っ暗なトンネルでの生活に視力は必要ありません。でも、夜行性の動物には目が大きく発達したものがあってもいいか、という意見もあるでしょう。たしかに、夜行性動物のうち、いくつかの種には、目が発達しているものがあります。これは



クロスモグラの目

暗い中でわずかな光を感じるために発達してきたものです。でも、モグラが棲んでいる地下世界は、夜の闇よりもっと暗く、まさに「真ッ暗」なのです。そこまで光がない環境だと、目は必要ないのです。このような変化は、「退化」と呼ばれています。

この目をおおう皮膚は、目に土が入ることを防ぐのにも役立っているかもしれませんが、ついでに耳のことを紹介すると、耳たぶのようなものは見当たらず、小さな穴が開いているだけです。でも、内部には耳の構造があって、音はちゃんと聞くことができます。

ちなみに、「モグラが光に弱い」というイメージは、^②地上で発見されるモグラが、たいてい死んでいることから生まれたもののようです。かわいそうに、モグラは地上の光に当たったために死んでしまったというのです。実際、モグラを見つけたことがあるという人でも、おそらくそのモグラは死んでいたんじゃないかと思います。

でも、モグラが死んだのは、光に当たったからではありません。あとでお話するように、モグラはめったに地上に出てこないのですが、地上に現れるとネコやイヌなどの天敵に攻撃されやすいのです。しかも、それでいてモグラには独特の体臭^③があるため、天敵はモグラを殺しておきながら、食べないでホウチすることが多いようです。そのため、無残にもモグラはしばしば死んだ状態で発見されるのです。

しかし、もちろん食べられることもあります。とくに、モグラの分散期^④と子育ての時期が重なるサシバやフクロウなどの鳥に、捕食されることが多いようです。

次はモグラの体つきについて考えてみましょう。

もちろん、イラストによく描かれるようなヘルメットはつけていませんが、モグラの体は結構丈夫^⑤にできています。トンネルが崩れてもつぶれてしまうようなことはありません。しっかりした骨格と筋肉の上を、非常に厚い皮膚がおおっています。

このモグラの皮膚には、とても柔らかい毛がびっしりと生えていて、皮膚が傷つくことから守っています。毛の色は種によって異なりますが、黒から灰色がかったこげ茶色で、よく絵に描かれるようなべたっとした茶色とはちょっと違います。

ときには部分的に白い毛をもったものや、全身が真っ白な個体が発見されることがあります。こういった変異個体は、捕食者に見つかりやすいため、一般的に淘汰される傾向が強いとされますが、モグラは地中生活をいとむせいか、ほかの動物と比べて、^⑥このような個体が多く見られるようです。

毛はとってもふわふわです。触^⑦っていても気持ちがよく、ハムスターをなでたことがある人は、同じような感覚だと思ってもらっていると思います。毛は春と秋に、それぞれ夏毛、冬毛に生え換わります。冬毛は毛足が長いのが特徴です。

^⑧このモグラの毛には秘密があります。ほとんどの動物の毛は、皮膚に対して、後ろに向かって斜めに生えています。それによって毛流^⑨というものがつくられます。僕たちの頭にあるつむじもそのひとつです。

ところがモグラの毛は、体に対して、ほとんど垂直に生えているのです。これは、モグラが狭いトンネルの中を、前にも後ろにも自由に進むために役立っています。モグラのトンネルには、基本的にUターンするような余裕はありません。だから、後ろ向きに進むことが必要です。もし毛が後ろに倒れて生えていたら、後ろに進むときに引っかかってしまいますよね。前に生えていたら今度は前に進むときにコマリ^⑩ます。そうならないようにちゃんとまっすぐ生えているのです。このおかげでモグラは前にも後ろにも、ほとんど同じくらいの速さで走ることができます。

とはいえ、もちろんいつまでも後ろ向きに進み続けるのは大変ですね。モグラはトンネルの分岐点があると、まるで車庫入れをするようにお尻^⑪を入れて、方向転換をします。こちらのスピードもソウトウなもので、モグラのこの車庫入れ技術には目をみはるものがあります。

それから、目が見えないモグラの歩行には、鼻としっぽも重要です。

鼻の先にはモグラ特有の「アイマー器官」という、ひとつが〇・五ミリメートルほどの微小な感覚装置がびっしりとそなわっていて、微弱な震動^⑫を感知することができます。また、モグラの長い鼻の上側には、毛が生えていない裸^⑬の部分があります。皮膚がぶ厚くなったこの部分をつかって、モグラは天井の土を押しのけていきます。

それから、ネズミなどと比べてモグラのしっぽが短いことは、ぱっと見てもわかると思いますが、これはモグラが地下生活に適応した立派な証拠^⑭です。モグラが後ろに進むときに長い尾はジャマになるからです。そして尾にはまばらに毛が生

えています。これは感覚毛と考えられていて、モグラがトンネルの中を移動するときに、尾でトンネルの天井を探りながら歩く姿を見ることができます。

これらの鼻やしっぽのほかにも、手足の感覚毛や全身をおおう毛などの働きもあって、モグラは、視覚に頼らなくても、自由にトンネル内を移動し、餌を捕まえることができます。

(川田伸一郎『モグラ博士のモグラの話』)

注1 分散期Ⅱ 母親が、成長した子どもを自分のすみかから追い出す時期。

注2 淘汰Ⅱ 生存競争の結果、環境に適応しないものがほろび、適応するものだけが残ること。

問1 〰〰〰線①②③④⑤のカタカナを漢字に直しなさい。

問2 線①「ほとんど視力がありません」とありますが、その理由を三十五字以内で説明しなさい。(、や。もふくみます)

問3 線②「地上で発見されるモグラが、たいてい死んでいる」とありますが、その理由として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 普段地下で暮らしているモグラは、太陽の光を浴びると目がくらんでしまい、天敵に攻撃されやすくなるから。
イ モグラの手足は、地下でのトンネル生活には適した構造であるが、地上で動き回るには不便な構造であるから。
ウ 地上に出た際にモグラは天敵に攻撃され、その後自らの体臭のため食べられることなく放っておかれるから。
エ モグラには独特の体臭があるため、地上にいる天敵にそのにおいをかぎつけられ、すぐおそわれてしまうから。

問4 線③「このような個体」とは、どのような個体のことですか。本文中から二十五字以内で抜き出しなさい。(、もふくみます)

問5 線④「モグラの毛には秘密があります」とありますが、ここでの「秘密」とは何ですか。理由もふくめて四十五字以内で説明しなさい。(、や。もふくみます)

問6 次のア～オについて、本文の内容と合うものを二つ選んで、それぞれ記号で答えなさい。

ア モグラのしっぽが短いのは、トンネルの天井をそのしっぽで探りながら歩くためである。
イ モグラの鼻先には感覚器官があり、それによって周囲の震動を感じ取ることができる。
ウ モグラの耳は、音を聞くことはできるが、土が入らないように皮膚でおおわれている。
エ モグラの体は、骨格と筋肉がしっかりしており、また、皮膚も非常にぶ厚くなっている。
オ モグラの毛は、地上で暮らす動物のように、季節に合わせて生え換わるということはない。

(二) 次の各問いに答えなさい。

問1 次の□にそれぞれ漢数字を一字ずつ入れて、()の意味になるように四字熟語を完成させなさい。

(例) 四 苦 八 苦 (非常に苦しむこと)

- ① 危機 □ 髪 (すぐそこまで重大な危機がせまっていること)
② □ 里 霧 中 (深い霧の中と同じで、何が何やらわからないこと)
③ □ 戦 錬 磨 (多くの戦いを経験して、きたえられていること)
④ □ 日 坊 主 (あきやすく、何をしても長続きしないこと)
⑤ □ 差 □ 別 (様々なちがいがあること)

問2 次の各文の——線の言葉に最も意味が近い日本語を、後のア～コの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- ① 彼女の立ち居振る舞いは、エレガントだ。
② 人としてのモラルから、外れてはいけない。
③ 近ごろのメディアは、スポーツの偉業をよく取り上げる。
④ 環境に配慮した車のユーザーが、年々増加している。
⑤ 彼はタイミング良くパスを出してくれた。

- | | | | | |
|-------|------|------|--------|-------------|
| ア 購入者 | イ 調子 | ウ 上品 | エ 礼儀 | オ テレビの番組 |
| カ 使用者 | キ 頃合 | ク 道徳 | ケ かわいい | コ 情報を伝える仲立ち |

問3 次の各文の——線について、人から伝え聞いた意味のものをすべて選んで、記号で答えなさい。

- ア 明日の入学式には、桜が見ごろになるそうだ。
イ 大型の台風が、関東地方に接近してきそうだ。
ウ 口笛を吹いている陽気そうな人が、こちらへ向かってくる。
エ 彼は昔から豪快で、大変男らしい人だった。
オ となりのおじさんは、昔はオリンピック選手だったらしいよ。

(三) 次の文章は、夏休みのある朝、父（ハルさん）とその一人娘（ふうちゃん）が会話をしている場面です。以下を
読んで、後の問いに答えなさい。

「ねえ、ハルさん」

一口、^{注1}シリアルを食べてから、ふうちゃんは言った。

「ハルさんは、どうして会社に行かないの？」

ふうちゃんは大きな目でハルさんを見つめて、小首をかしげている。

ついにきたか、とハルさんは思った。

小学校に入り、ほかの子供たちの家族のあり方を知れば、いつかはこんな質問をされると思っていた。

ちなみに、ふうちゃんが「ふうちゃんのおうちには、どうしてお母さんがいないの？」という質問をしたのは幼稚園の年長になった頃で、そのときには「ふうちゃんのお母さんは、お空の上でいつも見守ってくれているんだよ」と言って、お茶を濁した。

だが、今では、ふうちゃんも四年生である。

ごまかすのではなく、ありのままに話すべきだろう。子供扱いをしないで欲しいと、つい昨日、言われたばかりだ。

ハルさんは居ずまいを正して、ふうちゃんと向かい合った。

「僕も昔は、会社に行っていたんだよ」

ええっ？ とふうちゃんは声に出して驚いた。

そんなに驚かなくても……と思いながら、ハルさんは続ける。

「大学を卒業した後、会社に入ったんだ。でも、どうにも合わなくてね。本当は、人形が作りたかったんだよ。大学生のときから人形作りをしていて、ずっと続けていきたいと思っていた」

「だから、会社に行くのを辞めたの？ 人形が作りたかったから？」

「そういうことかな。会社に行ってたときにも、休みの日を使って、少しずつ人形は作ってたんだ。でも、人形作りに集中していると、会社の仕事に全力投球できなくて、申し訳ないような気持ちになってね。会社の仕事が忙しいときには、人形作りにかける気力や体力がなくて……。両立は難しかった」

どこか遠い目をして、ハルさんは牛乳の入ったコップを見つめる。

その頃から景気はのぼり調子になり、ハルさんのいた会社もどんどん業績を伸ばして、残業が多くて大変だった。もし会社に勤め続けていれば、今とは比べ物にならないほどの収入を得ていたが、忙しすぎて人形作りなどできなかっただろう。それに、こうやってふうちゃんとゆっくり話をする時間を持つことも難しかったはずだ。世の父親たちは子供が起きる前に出勤して、帰宅をするのも子供が眠った後で、土日も接待で家にいることが少ないらしく、新聞には「父親不在の時代」などと書かれている。

「僕は会社に勤めながらも、人形を作って生きていきたいという気持ちを抱えていた。そんなとき、作った人形をコンクールに出品したら、賞を取ったんだ。そして、浪漫堂さんが僕の人形を気に入ってくれた」

「賞を取ったの？ すごい」

①ふうちゃんの言葉に、ハルさんは弱々しく微笑む。

「でも、僕は悩んでいたんだよ。会社にいれば、お給料がもらえる。けれど、会社を辞めたらとても貧乏になってしまう。お金がなかったら、ふうちゃんのおむつを買うこともできない」

「ふうちゃん、おむつなんかしないもん」

「いや、赤ちゃんの頃の話だよ。その頃はまだ、ふうちゃんが生まれたばかりだったんだ。だから、ふうちゃんのためにも、我慢して働いたほうがいいかなと思っていた」

ハルさんはテーブルの上の牛乳パックに手を伸ばして、コップに注ぎたした。

「そんなとき、瑠璃子さんが僕に言ってくれたんだ。自分に合わない場所になんて無理している必要はない、やりたいことをしなさい、って。それで、会社を辞めて、人形作りをして生きていこうと決めた」

「自分に合わない場所になんて……いる必要はない……」

② ふうちゃんは、瑠璃子さんのセリフを口の中で繰り返した。

「お母さんって、いいこと言うね」

「そうだろう？ 瑠璃子さんと結婚できたことは、僕の誇りだよ」

そして、コップの牛乳をほとんど飲むと、ハルさんは席を立とうとした。しかし、ふうちゃんはまだ何か話がある様子で、こちらを見ている。

「……どうしたんだい？」

「自分に合わない場所にいるのは、大変？」

「そうだね。我慢すること、得られるものだってあると思う。けれど、自分らしくいられる場所があれば、そちらを選んだほうがいいんじゃないかな。一度きりの人生だからね。後悔のないようにしようと、僕は思った」

ハルさんは、コップの底にたまった牛乳を軽く揺らしながら言った。

「世の中にはね、いろんな生き方があると思うんだ。その中で、僕は自分のやりたい道を選んだ。③ そのせいで、貧乏になる」と、ほかの人からどう思われようと、僕は満足なんだよ」

Ⅱ 柄にもなく父親らしい説教をしてしまったかな、とハルさんは人差し指で頬をかいいた。

「ハルさんは、おうちにいられて、よかったね」

「そうだね。こうやって、人形を作って、ふうちゃんと暮らしているのは、本来の居場所にいるという気がするよ」

「ふうちゃんの居場所も、ここだよ」

にっこりと笑ったふうちゃんに、ハルさんは力強くうなずく。

「うん。このおうちがふうちゃんの居場所だ」

それから、ふうちゃんは少し黙って、考えてから、口を開いた。

「もし、誰かに無理やり、ちがう場所に連れていかれたら、ふうちゃん、つらいよ。絶対に、おうちに帰りたいって思う。」

④ 自分に合わない場所にいるのは、いやだもん」

その言葉を聞いて、ハルさんはふいに思いついた。

もしかして、ふうちゃんは学校に居場所がないのだろうか……。

ハルさん自身、子供の頃は学校が好きではなかった。

(ふうちゃんが、二学期からは学校に行きたくないって言い出したら、僕はどうすればいいのだろう)

ほとんど家に引きこもって暮らしている自分には、何を言っても説得力がないような気がした。

かけるべき言葉を探しているうちに、ふうちゃんはシリアルを食べ終えた。

⑤ 「朝からいいお話を聞かせてくれて、ありがとう」

ふうちゃんの声は潑刺としていて、瞳もきらきらと輝いている。悩んでいるそぶりはなさそうだ。

「ハルさんのお話、すごく役に立ったよ。行ってきたーす」

首からラジオ体操のカードとホイッスルをさげると、ふうちゃんは元気よく家を飛び出していった。

(藤野恵美『ハルさん』)

注1 シリアルⅡコーンフレークのこと。牛乳などをかけて食べる。

注2 浪漫堂Ⅱ人形や小物を扱っている店の名前。

注3 瑠璃子さんⅡ亡くなった母親の名前。

注4 潑刺Ⅱ生き生きとしていて明るく元気な様子。

問1 〰〰〰線(a) 〱(c)の漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

問2 〰〰線Ⅰ「お茶を濁した」、Ⅱ「柄にもなく」の語句の意味として最も適当なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- Ⅰ
- ア 自分の失敗を他の人のおこないのせいにした
 - イ いいかげんなことでその場をとりつかった
 - ウ のらりくらりと言い逃れして人をからかった
 - エ かえってその場の雰囲気^{ふんいき}を悪くしてしまった

- Ⅱ
- ア 育ちや性格を考えると少し地味に
 - イ 何の面白みもなくとてもかたくなるしく
 - ウ 明るさや華やかさが全く感じられず
 - エ 性格や普段^{ふだん}の言動にふさわしくなく

問3 〰〰線①「ふうちゃんの言葉に、ハルさんは弱々しく微笑む」とありますが、このときの「ハルさん」の様子や気持ちについて説明したものとして最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 人形作りのことをよく知らない子どもに受賞をほめられてもあまりうれしくはないし、むしろ面白くないとさえ思っている。
- イ 受賞したのはうれしいが、それによって会社を辞め、妻にも苦労させることになったので、複雑な気持ちになっている。
- ウ 会社と人形作りとどちらをとるか、特に収入の面で悩んでいたので、ふうちゃんに受賞をほめられても素直によろこべない。
- エ 大きなコンクールでもなかったし、浪漫堂さんが特別にはからってくれたゆえの受賞であったから、素直によろこべない。

問4 〰〰線②「ふうちゃんは、瑠璃子さんのセリフを口の中で繰り返した」とありますが、このときの「ふうちゃん」の様子や気持ちについて説明したものとして最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 母親の父親へのアドバイスを、今のおかれています状況^{じょうきょう}にあてはめて考えようとしている。
- イ 母親の言葉をもう一度繰り返すことで、その意味をできるだけ正確に理解しようとしている。
- ウ 母親の言葉を自分が繰り返すことで、父親の迷いをふり払い自信を持ってもらおうとしている。
- エ 母親の父親へのアドバイスの内容に疑問を抱き、どこがおかしいのか考えてみようとしている。

問5 — 線③「僕は自分のやりたい道を選んだ」とありますが、その結果「ハルさん」は自分の好きなことを仕事にすることができた以外にどのようなものを手に入れましたか。最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 一度きりの人生をより豊かに過ごせるゆとり
- イ 以前とは比べ物にならないほどの多くの収入
- ウ 一人娘のふうちゃんとゆっくり話をする時間
- エ お母さんの代わりにふうちゃんを育てる時間

問6 — 線④「自分に合わない場所にいるのは、いやだもん」とありますが、「ふうちゃん」のこの言葉を聞いた「ハルさん」は、どのような不安を抱きましたか。解答らんに合うように、本文中から二十字で抜き出しなさい。(、や。はふくみません)

問7 — 線⑤「朝からいいお話を聞かせてくれて、ありがとうございます」とありますが、この時のふうちゃんの気持ちを三十字以内で書きなさい。(、や。もふくみます)

解答用紙

--	--

--	--

問 1 $\left(\frac{1}{2} \right)$

d	a
h	
e	b
	c

問
2

[illegible]

問
3



問
4

[illegible]

問
5

[illegible]

問
6

$$\left[\begin{array}{c} \text{---} \\ \text{---} \end{array} \right]$$

①	
②	
③	
④	
⑤	

問
2

①	
②	
③	
④	
⑤	

問
3

Downloaded At: 11:53 11 September 2009

()

(d)		(a)	
		すまい	
(e)		(b)	
		めた	
		(c)	

問
2

I
II

問
3



問
4

5

問
5

--	--

問
6

[illegible]

という不安。

問
7

[illegible]